

3-3 沿道と連続したみどりの軸の強化

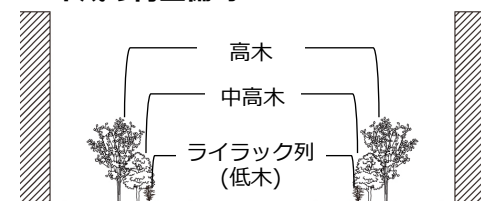
現状

■公園と沿道が連携したにぎわい空間

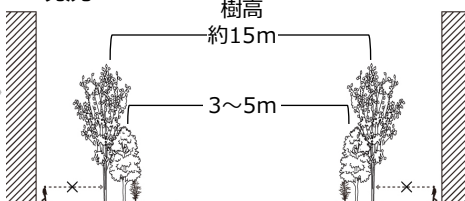
- 平成の再整備時から大きく育った樹木は、札幌を象徴するみどりの軸を強化する一方、公園⇄沿道間の見合いを難しくし、沿道との一体感を喪失させている。また、腐朽木・老木や鬱蒼とした樹林環境が一部に見られる。

【沿道植栽の変化】

・平成の再整備時



・現況



■地下鉄などからのアクセス性を高める地下空間との連携

- 移動の軸としても大通公園は重要であるが、周辺の歩道（地下空間を含む）はバリアフリー化されており、公共交通機関も含めた公園へのアクセス環境は一定の整備がされている。



■公園～道路～民間敷地が一体となったみどりの空間

- 現状の大通公園は、日常的な駐輪や路上喫煙、公園施設の配置状況、イベント時のプレハブ設置、樹木の成長などにより、沿道とのつながりが薄れている。
- 周辺の民有地においては、まとまったみどりが少ない。
- 周辺では民間の建物更新の機運が高まっており、大通公園のみどりを意識した開発の動きも見られる。

【周辺開発動向事例】

・大通西4南地区第一種市街地再開発事業



出典：大通西4南地区市街地再開発組合

・ザ ロイヤルパークキャンパス札幌大通公園



出典：三菱地所

■公園側敷地と隣接した歩道部空間

- 公園側歩道部（2m歩道）は、狭さや土舗装による歩きにくさ、駐輪、道路施設などがあり、歩行空間としてあまり利用されていない。

【公園側歩道部の夏季・冬季の利用状況】

・夏季



・冬季



主な課題

- 近年の沿道施設は、大通公園のみどりを意識した開発も見られるが、全体として沿道のみどりの量は少なく、みどりによる一体的な空間創出に課題がある。
- みどりの軸を意識しながらも、沿道との一体感を醸成できる適切な緑量の検討が必要である。また、腐朽木・老木への対応や鬱蒼とした樹林環境の改善も必要である。
- 大通公園周辺の地下空間（通行機能）は充足しているものの、地下空間から大通公園が認知しづらい状況にある。
- 大通公園と沿道の空間的な一体感に欠け、利活用及びにぎわいの連続性が不足している。
- 公園側歩道部（2m歩道）は歩行空間とも緑化空間とも言えない中途半端な空間になってしまっており、沿道に対する裏側感も生じさせている。

今後の方向性

【更新・発展の方向性】

- 大通公園にふさわしい緑量の検討を行い、より望ましいみどり空間を創出する。
⇒ <都市の中心にあるみどり> <みどりと近接したまちなみ>
- 沿道との一体感を醸成を意識した公園側歩道部（2m歩道）のあり方について検討を行う。
⇒ <みどりと近接したまちなみ>
- 地下空間から大通公園が認知しづらい状況の改善や、周辺のまちなみへの回遊性向上により、街区・道路（地下空間を含む）・公園がさらに一体的な空間となるように検討を行う。
⇒ <みどりと近接したまちなみ>
- 大通公園周辺での建物更新の機会を捉え、大通公園に対する公共貢献や大通公園を意識した計画の検討がなされるよう働き掛けを行っていく。
⇒ <民間事業者・市民団体の活力>

【維持・継承の方向性】

- 東西に連なる札幌の象徴的なみどりの軸を継承する。
⇒ <都市の中心にあるみどり> <連続した軸としての一体性>
- バリアフリー環境を維持・向上させる（ユニバーサルデザインの推進）。
⇒ <生活の場（日常）>



⇒ <>：今後の大通公園のあり方を考えていく上でのキーワード

4-1 テーマ・コンセプト

大通公園のあり方： インクルーシブ グリーン コリドー **Inclusive Green Corridor** ～誰もが思い思いに過ごせるみどりの空間～

防火帯から市民の憩いの場となり、公園・道路・沿道が一体となった空間形成を目指している背景を踏まえ、今後もみどり豊かな空間であるとともに、多様な価値観を受け入れ、誰もが互いに尊重しあうこれからの時代にふさわしい象徴空間を目指す

01-1 歴史性・地域性

- ・ みどり豊かなこの空間の継承
- ・ 市民に親しみ・愛されてきた象徴性の継承
- ・ 都心のオアシスである水景空間の継承
- ・ 歴史・文化を象徴する野外彫刻などの継承



02-1 生活の場（日常）

- ・ 四季を通じて、日常的に大人から子供までが思い思いに過ごせる空間の創出
- ・ 年齢、性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず使いやすい空間の整備



03-1 都市の中心にあるみどり

- ・ 中長期的な視点で樹木の健全化を図り、都心部の豊かで良好なみどり空間を維持・向上
- ・ 芝生や花壇に一層親しむことのできる環境やみどりを身近に感じられる機会を創出
- ・ 都心のオアシスである水景空間の更新



04-1 連続した軸としての一体性

- ・ 大通公園の特徴や成り立ちを踏まえた一体性のある景観形成
- ・ 大通公園西側、創成東地区、時計台への人の流れや回遊性を意識した空間形成
- ・ 街区間のつながりを持たせた空間形成や利活用方針の検討



05-1 公共によるマネジメント

- ・ 持続的な管理運営を図るため、都市公園に関わる収入の公園施設への還元を検討
- ・ 公園の周辺ならではの開発インセンティブの促進
- ・ 公園利用ルールを検討



01

過去と未来を重ね合わせる

大通公園が持つ歴史や文化、象徴性を継承するとともに、これからの時代にふさわしい機能や空間を付加していくことで、新たな価値を創出していく

02

日常と非日常を重ね合わせる

日常的に誰もが思い思いに過ごせる空間を創出するとともに、札幌ならではのにぎわいを創出していくことで、大通公園の魅力を高めていく

03

都心のみどりとまちなみを重ね合わせる

都心の中心にある公園として質の高いみどり空間を創出するとともに、まちの回遊拠点としての役割も高めていくことで、みどりとまちなみの一体感を醸成していく

04

一体性と個性を重ね合わせる

1.5kmに及ぶ1つの公園としての一体性を保つとともに、各街区の個性や変化をより感じられる施設計画を行うことで、歩きたくなる空間を創出していく

05

公共と民間の強みを重ね合わせる

公共によるマネジメントだけにとどまらず、民間事業者・市民団体の活力をこれまで以上に活かすことで、持続可能な施設整備や管理運営を達成していく

01-2 将来性・国際性

- ・ 環境配慮型の施設整備、再生可能エネルギーの活用、グリーンインフラとしての機能向上
- ・ 国内外の人々が集い、交流を生み出す空間形成
- ・ デジタル機能を活用した利用者サービスの向上や管理運営の効率化



02-2 発信の場（非日常）

- ・ 多様な日常利用とイベント利用の両立を図る最適な空間配置の検討
- ・ 札幌らしさ、大通公園らしさを発信できる魅力的なイベントなどによる、にぎわい創出の仕組みの検討



03-2 みどりと近接したまちなみ

- ・ 都心部の回遊拠点として、まちとつながり、アクセス性・回遊性を高める公園環境の整備
- ・ 大通全体のにぎわい創出や地上地下結節等に資する公園と沿道との一体感を高める空間整備



04-2 各街区の個性

- ・ 丁目ごとの変化が感じられ、歩きたくなる空間の形成
- ・ 沿道の土地利用や建物状況に応じた空間機能の一体性の確保
- ・ 景観に配慮した施設の整備



05-2 民間事業者・市民団体の活力

- ・ 民間事業者や市民団体の力を活かした管理運営や施設整備の推進
- ・ 都心の活性化に係る幅広い民間の公園活用アイデアを受け止められる仕組みの検討



大通西4南再開発（イメージ）
出典：大通西4南地区市街地再開発組合

4-2 取組詳細

01

過去と未来を重ね合わせる

01-1 歴史性・地域性

- ・みどり豊かないこの空間の継承
- ・市民に親しみ・愛されてきた象徴性の継承
- ・都心のオアシスである水景空間の継承
- ・歴史・文化を象徴する野外彫刻などの継承

大通公園が持つ歴史や文化、象徴性を継承するとともに、これからの時代にふさわしい機能や空間を付加していくことで、新たな価値を創出していく

01-2 将来性・国際性

- ・環境配慮型の施設整備、再生可能エネルギーの活用、グリーンインフラとしての機能向上
- ・国内外の人々が集い、交流を生み出す空間形成
- ・デジタル機能を活用した利用者サービスの向上や管理運営の効率化

02

日常と非日常を重ね合わせる

02-1 生活の場（日常）

- ・四季を通じて、日常的に大人から子供までが思い思いに過ごせる空間の創出
- ・年齢、性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず使いやすい空間の整備

日常的に誰もが思い思いに過ごせる空間を創出するとともに、札幌ならではのにぎわいを創出していくことで、大通公園の魅力を高めていく

02-2 発信の場（非日常）

- ・多様な日常利用とイベント利用の両立を図る最適な空間配置の検討
- ・札幌らしさ、大通公園らしさを発信できる魅力的なイベントなどによる、にぎわい創出の仕組みの検討

01-A

鬱蒼とした樹林環境の改善や健全性が低下した樹木の更新などを行い、長く市民に親しまれてきたみどり豊かないこの空間を維持・継承していきます。



01-D

雨水貯留・浸透機能が期待できる植栽基盤や舗装基盤などの導入を検討し、公園が持つグリーンインフラとしての機能を充実させ、持続可能な都市を支える象徴的な空間とします。



02-A

ブラック・スライド・マントラ（西8丁目）やクジラの山（滑り台が併設された築山）、遊水路のように、景観への配慮と実用性が兼ね備わった誰もが楽しむことができる遊びやいこの機能の充実を検討します。



02-D

イベントが盛んに行われている西5・6・7丁目において、芝生と舗装のバランスの再編を検討し、イベントを開催しやすい空間を実現します。



01-B

樹木や芝生からなるみどりの軸とその先に見える山並みやテレビ塔への眺望を維持・継承していきます。



01-E

二次元コードを活用した多言語対応の公園案内や施設の解説など、ICTを活用することで、公園利用者の利便性の向上と管理運営の効率化を図ります。



02-B

多様な過ごし方を選択できるよう、樹林帯内へのテーブル・ベンチの配置や、ほど良い高低差の創出などを検討します。



02-E

設営撤去期間の短縮を目的とした電気・給排水設備の整備など、イベントの受け入れ施設の充実を検討します。



01-C

野外彫刻などは、大通公園内で維持・継承していくことを基本としますが、樹木などの陰に隠れ、十分に認知されていない施設も存在します。こうした施設については、存在感や魅力を高めていく手法を検討をします。



01-F

大通公園の集客力や発信力を活かし、先進的な取組や社会実験を行うことで、新たな価値や情報を発信し共有する場としていきます。



02-C

散策や雪とのふれあいといった野外活動などにより、年間を通して札幌の四季を感じ、体験することができるような空間整備とコンテンツを検討します。



02-F

様々な距離感でイベントとの関わりを選択できるように施設計画により、公園利用者の快適性の向上を図ります。



4-2 取組詳細

03

都心のみどりとまちなみを重ね合わせる

03-1 都市の中心にあるみどり

- ・中長期的な視点で樹木の健全化を図り、都心部の豊かで良好なみどり空間を維持・向上
- ・芝生や花壇に一層親しむことのできる環境やみどりを身近に感じられる機会を創出
- ・都心のオアシスである水景空間の更新

03-2 みどりと近接したまちなみ

- ・都心部の回遊拠点として、まちとつながり、アクセス性・回遊性を高める公園環境の整備
- ・大通全体のにぎわい創出や地上地下結節等に資する公園と沿道との一体感を高める空間整備

04

一体性と個性を重ね合わせる

04-1 連続した軸としての一体性

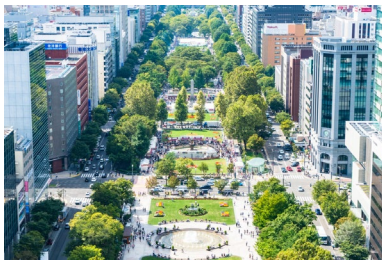
- ・大通公園の特徴や成り立ちを踏まえた一体性のある景観形成
- ・大通公園西側、創成東地区、時計台への人の流れや回遊性を意識した空間形成
- ・街区間のつながりを持たせた空間形成や利活用方針の検討

04-2 各街区の個性

- ・丁目ごとの変化が感じられ、歩きたくなる空間の形成
- ・沿道の土地利用や建物状況に応じた空間機能の一体性の確保
- ・景観に配慮した施設の整備

03-A

現状のみどりをそのまま維持するのではなく、周辺街区との調和といった大通公園にふさわしい緑量を検討し、適切な樹木の間引きや下枝の整理等を行っていきます。



03-D

公園に隣接した2mの歩道部分については、良好な通行空間を確保した上で、周辺街区との一体感を醸成する設えを検討します。また、これに隣接する車道との一体的な利活用についても検討します。



04-A

樹木や芝生からなるみどりの軸や、その先に見える山並みやテレビ塔への眺望を維持・継承するとともに、サインや照明灯などのデザインを統一することで、一体性のある景観を形成します。



04-D

歴史的・文化的な背景や今後のまちづくりの方向性を踏まえながら、各丁目の空間コンセプトを検討します。



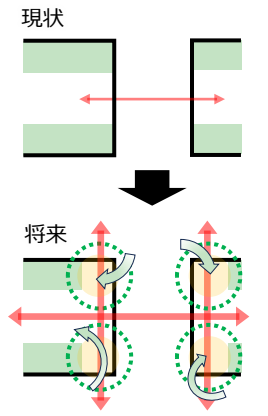
03-B

各丁目に均一に配置されている芝生や花壇については、より注目され親しまれるものとなるよう、配置や形状、植栽基盤等の見直しを行うとともに、良好な状態を維持する仕組みについても検討します。



03-E

街区の角部に人の流れを受け止める広場空間を設けたり、樹木の下枝整理による見通しの改善を図ることで、回遊性とアクセス性の向上を図ります。



04-B

公園内にとどまらず、札幌市資料館（西13丁目）や時計台（西2丁目）、創成東地区への回遊性やみどりの一体性も考慮した空間整備を検討します。



04-E

まちの景観との調和に配慮しつつ、個性を感じられる水景・遊び場・ファニチャー等の施設の配置やデザインを検討します。



03-C

都心のオアシスである水景施設については、現状の公園利用や持続可能な管理運営にも配慮し、施設数や配置の見直しを行いながら、新たな形で水に触れ合えたり、水との距離感が選択可能な設えを検討します。



03-F

大通公園沿道の建物更新機会を捉え、連携して公園の整備を行うことで、公園と周辺街区との一体感を醸成します。



大通西4南再開発（イメージ）
出典：大通西4南地区市街地再開発組合

04-C

みどり・花が豊かな空間で、歩く・休む・遊ぶ・食べるなどの多様な過ごし方が選択できるように、機能的な施設配置を行い、利活用方針を検討します。



04-F

沿道の土地利用や丁目ごとの公園利用状況を踏まえ、芝生・樹木・花壇・舗装・水景施設などの構成に変化を持たせ、歩きたくなる空間整備を行います。



4-2 取組詳細

05 公共と民間の強みを重ね合わせる

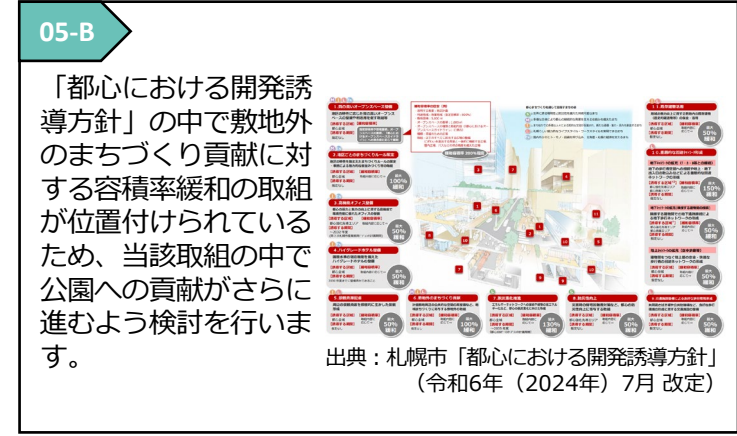
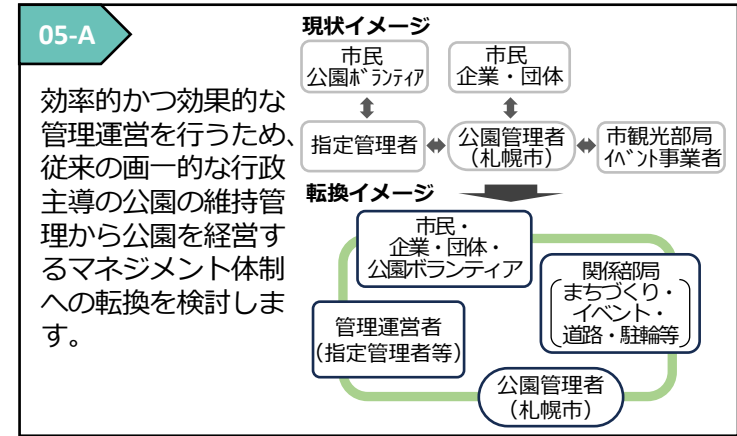
05-1 公共によるマネジメント

- ・ 持続的な管理運営を図るため、都市公園に関わる収入の公園施設への還元を検討
- ・ 公園の周辺ならではの開発インセンティブの促進
- ・ 公園利用ルールの検討

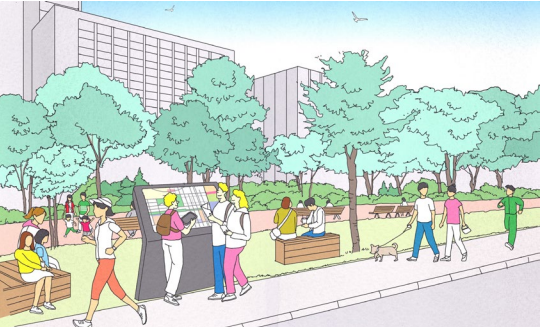
公共によるマネジメントだけにとどまらず、民間事業者・市民団体の活力をこれまで以上に活かすことで、持続可能な施設整備や管理運営を達成していく

05-2 民間事業者・市民団体の活力

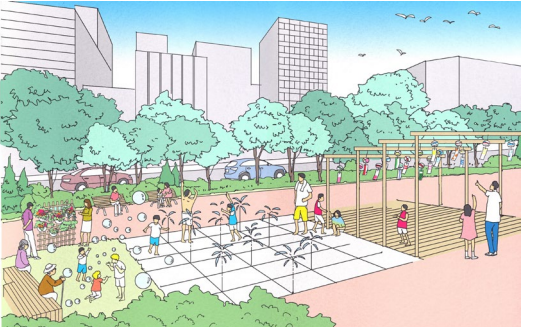
- ・ 民間事業者や市民団体の力を活かした管理運営や施設整備の推進
- ・ 都心の活性化に係る幅広い民間の公園活用アイデアを受け止められる仕組みの検討



◆ 大通公園の活動イメージ



- ・ 先に進みたくなるようなエリアの変化や移動の選択性がある
- ・ 各丁目の出入口が感じられる
- ・ 1.5km全体が一体と感じられる共通のデザイン要素がある



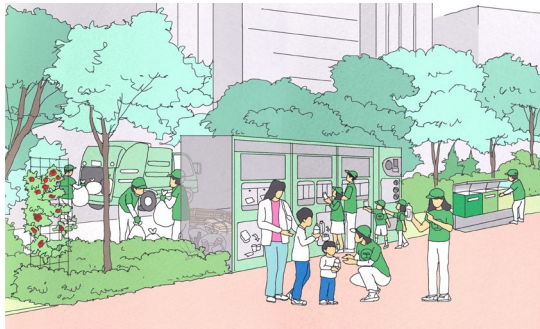
- ・ 道路の音から離れた場所が見つかる
- ・ 身体を使える地形のような場所がある
- ・ 身体を使った子ども・大人の遊び場になる



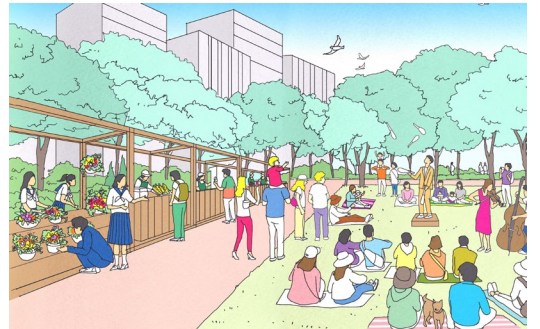
- ・ イベントへの参加度合いを選択できる
- ・ 日常的に過ごす時間で人との距離に選択性がある（ベンチの向き、サイズ等）
- ・ 樹木、水のような自然との距離に選択性がある



- ・ 少し高い場所/低い場所がある
- ・ 色々な姿勢で過ごせる
- ・ 公園を外から眺められる場所がある（木立の密度や視線の抜け）
- ・ 花の場所、緑の場所、映える場所のメリハリがある



- ・ 使いやすさを感じられる細やかな配慮がある
- ・ 公園と道路・まちなみとのつながりへの配慮がある
- ・ ファニチャー、ロゴ、ユニフォームなど公園全体としての統一性を感じられるきっかけがある



- ・ 本物の文化（衣食住・心技体）に触れられる
- ・ 多義的な過ごし方（遊び場、音楽、運動等）に触れられる
- ・ 社会実験などの新たな取組に触れられる



- ・ 冬季や夜間でも楽しめる場所がある（ライティング等）
- ・ 時間毎の変化が感じられる（時報のような仕掛けなど）
- ・ 植物の変化で四季が感じられる
- ・ 雨でも長く過ごせる場所がある
- ・ 冬のソリ移動が楽しめる



- ・ 夏場のミストなどにより環境の良さを感じられる
- ・ コンポストなど環境配慮の取組を知る環境教育の場となっている
- ・ 参加できる環境活動がある
- ・ 災害時にも安心できる備えが感じられる

4-3 大通公園の将来イメージ

西11-12丁目
札幌の歴史と文化を伝承するエリア

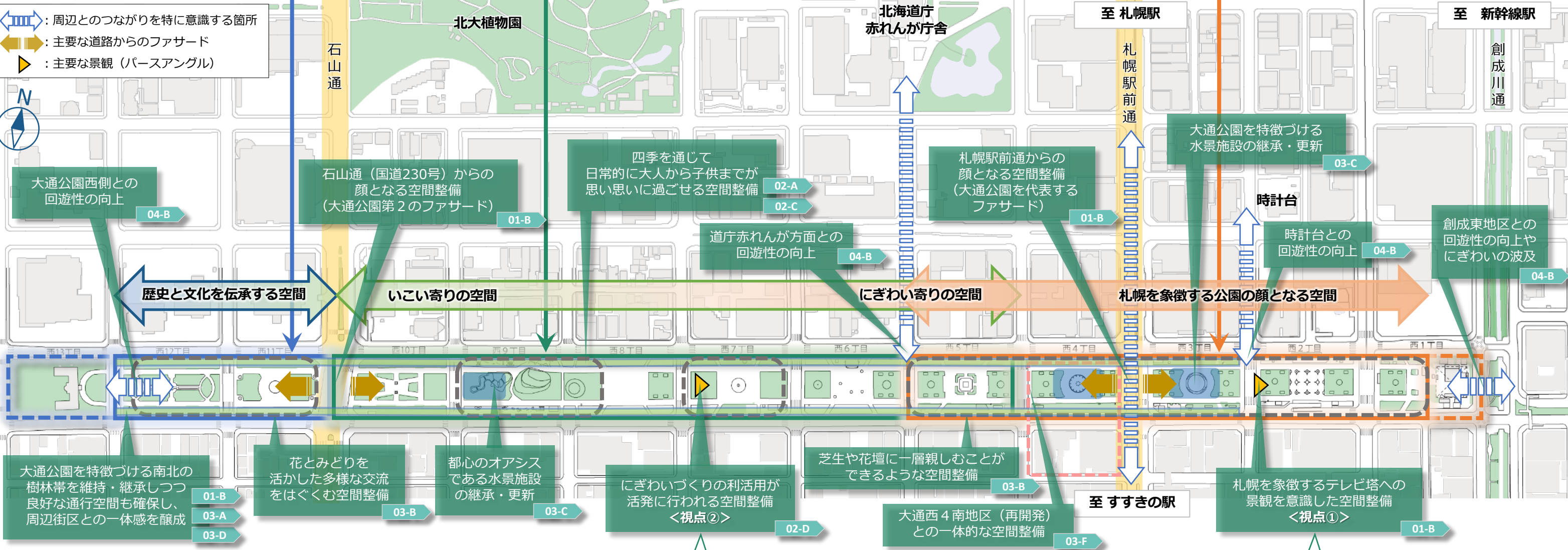
- 札幌の文化、花とみどりを活かし、多様な交流をはぐくむエリア
- 姉妹都市施設、西13丁目の資料館といった札幌の歴史を体感できるエリア
- 芝生や花壇、ガーデニングといった大通公園の文化を体感できるエリア

西5-10丁目
多様なニーズに対応した札幌ならではの活動を体験できるエリア

- いこいの充実を図ることにより、多様なライフスタイルと都市型イベントの共存を図るエリア
- イベントの質的向上を図ることで札幌を代表するイベントを体験できるエリア
- 多様な遊び・休息・滞留機能の充実、冬でも遊べる仕掛けを取り入れることで札幌ならではの公園利用を体験できるエリア

西1-5丁目
札幌を象徴する公園の顔となるエリア

- 札幌都心の骨格軸である札幌駅前通と大通が交差し、札幌を象徴する施設・活動が集積するエリア
- 大通公園を特徴づけるみどりや水景施設のほか、テレビ塔や大倉山への眺望により、札幌らしさを体感できるエリア
- 沿道と一体となったにぎわいが創出され、多くの来街者の滞留や交流が生まれるエリア



<視点②> 西7丁目から東方向

【想定整備内容】

- 様々なイベント開催を受け入れ可能な広場空間（舗装空間）
（イベント施設の設営・撤去期間の短縮につながるような、給排水設備・電気設備等の設置も含む）
- バックヤード機能も兼ねたステージの配置
- 沿道側（樹林帯）への良好な通行空間

<視点①> 西2丁目から東方向

【想定整備内容】

- テレビ塔への見通しを確保した空間
- まとまりのある広場空間（舗装空間）と芝生広場
- 芝生広場の中に高低差を設け、居心地の良い滞留空間
- 市民に親しまれ愛されてきた花壇を現在と同規模で適所に配置

※現時点で想定している整備内容のイメージであり、今後の検討により変更になる可能性があります。